

平成30年2月24日(土)学生まちづくりコンペティション

団体名 縄文デザインプロジェクトチーム

事業名 縄文デザインプロジェクト





目次

1. 事業目的
2. 組織
3. 事業内容
4. 縄文スタンプアート工房
5. はっち縄文ワークショップ
6. 事業成果まとめ
7. 謝辞

1 事業目的

- 八戸における縄文文化の普及
- デザインスキル、WSスキルの実践的トレーニング
- 八戸工業大学の学生の活動PR





2 組織

メンバー 3年生 6名 担当顧問 東方悠平
2年生 5名

広告活動	米澤香織 速水薫 遠瀬如美
WS運営	小瀧美穂 速水薫 遠瀬如美 種市美友希
記録	鈴木真美
発注	渡辺葵
グッズ管理	木村友佳里 諏訪汀
記録、研究発表	最上雅 貳又正弥

3 事業内容

縄文デザインプロジェクト日程表



- ・是川縄文館にて実地調査
- ・イベントごとのビジュアル作成計画、ポスター作製広報活動
- ・是川縄文のグッズ作成
- ・是川縄文まつり、ボランティア・市民活動フェスティバル、はっち開催ドキドキ縄文大冒険でのワークショップ、グッズ販売

事業場所

- ・是川縄文館
- ・市庁前広場
- ・八戸ポータルミュージアムはっち

グッズ製作紹介

縄文の模様をコミカルにアレンジしたグッズの作成。マスキングテープ、クリアファイル、スマホケースなど現代の人々が手に取りやすいものへとグッズ展開した。



マスキングテープ



スマホケース



ワークショップのタペストリーにも使用した。

4

8月20日

是川縄文祭り

「縄文スタンプアート工房」

ワークショップ開催



縄文
スタンプアート工房
2017.08.20(日) 10時~15時
場所：是川縄文館分館 (縄文学習館)

第22回
これかわ
縄文まつりにて
開催

【ワークショップ開催】
スタンプを使って
オリジナルの縄文カードを作ろう！
縄文文様のモチーフスタンプを
たくさん用意しています！
予約不要！参加費無料！！

【オリジナルグッズ販売】
是川縄文遺跡にちなんだ
オリジナルグッズを販売。
ステーションナリーグッズや
Tシャツなどこだわりの商品を
取り揃えています。

参加者募集！

※画像はイメージです。

An illustration of a person sitting at a table, using a stamp to create a縄文 pattern on a card. The person is wearing a blue shirt and a brown hat. The table has a white cloth and a small box. There are colorful dots around the person, suggesting a creative or artistic atmosphere. The background is a yellow and white striped pattern.

主催：江戸工科大学縄文デザインプロジェクト お問い合わせ先：hlgashikata@hi-tech.ac.jp



是川縄文祭りにて 「縄文スタンプアート工房」ワークショップを開催

土器などに使われている紋
様をスタンプにした
オリジナルアート作り体験

作成された縄文アートは
パネルに展示し、参加して
いない人とも共有できる場
を作った

文様をモチーフとした
オリジナル縄文グッズ販売





成果

- 親子中心に多くの参加者が集まった
- 『是川縄文祭り』東奥日報掲載(2017年9月1日)
- オリジナル縄文グッズを是川縄文館にて販売決定
(現在販売中)
- 八戸市から「ボランティア市民活動フェスティバル」への出店へと繋がった

5

12月27日 はっち縄文ワークショップ 「どきどき縄文大冒険」 開催

- 参加者と縄文を繋げる空間を実現
- 『どきどき縄文大冒険』東奥日報掲載
(2018年1月21日)
- グッズが是川縄文館で販売されること
になった
- 縄文の良さを広めるきっかけを作れた



6 事業成果まとめ

- ・イベントの参加者は是川縄文祭りでは40人程度、ボランティア・市民活動フェスティバルでは10人程度、ドキドキ縄文大冒険では30人程度
- ・グッズの売り上げはクリアファイル20枚程度、缶バッチが10個程度他の売り上げもまずまずの成果を出した。
- ・『是川縄文祭り』東奥日報掲載(2017年9月1日)
『ドキドキ縄文大冒険』東奥日報掲載(2017年1月21日)
- ・是川縄文館にてグッズ販売決定
- ・学生でイベント計画から広報までやりきることができ学生のスキルアップにつながった。



7 謝辞

本プロジェクトを進行するにあたり、
八戸工業大学 社会連携学術推進室様、
是川縄文歴史館の皆様、市民連携推進課の皆様、
はっちの皆様、様々な方にお世話になりました。
その他、本プロジェクトに協力してくだっただ皆様方、
誠にありがとうございました。

ここに感謝の意を表して謝辞とさせていただきます。